

\*本リリースは、AUDI AG 配信資料の翻訳版です。

\*本資料に記載の装備、諸元データは、いずれもドイツで販売予定のもので、日本仕様とは異なります。

### 印象的で自信に満ちたエクステリア

第3世代のAudi Q7は、その筋肉質なデザインを継承しています。アウディのシンボルであるフォーリングスとボンネットの位置は高い位置に配置されており、このSUVのフロントエンドをより大きく見せています。大型のシングルフレームを備えた印象的なフロントは自信とスポーティさを醸し出しており、新たにデザインされた機能的なエアインテークによってスタイリッシュなコントラストを演出しています。新型Audi Q7は、ホイールアーチが筋肉質に強調されていることで、ワイドな印象になっています。デジタルデイトタイムランニングライトと、その下にあるデジタルマトリクスLEDヘッドライトによった、視認性が高まり、そしてまた、オプションのイルミネーション付きシングルフレームと組み合わせることで、唯一無二の存在感を放ちます。

新型Audi Q7のエクステリアは、上向きに伸びるショルダークラインによって、さらに存在感が際立ち、このスポーティなオールラウンドカーに威厳のあるシルエットを与えています。アウディを象徴するquattro ブリスターがショルダークラインから伸び、後方の特徴的なDピラーへと細くつながっています。Dピラーが全体的に垂直に立ち上がったことで、ルーフラインはほぼ水平になり、車内のヘッドルームと空間がより広く確保されています。

Audi Q7は、市場に応じて異なる仕様で提供されます。プレミアムなadvancedモデルが標準となります。S lineはスポーティなエクステリアオプションとして用意されます。

オプションの第3世代デジタルOLEDリヤライトと連続したライトストリップは、昼夜を問わず際立っています。ライトストリップはリヤセクションを視覚的に分割し、車両の全幅にわたって伸びています。テールゲートとともにAudi Q7にスポーティでエレガントな印象を与えています。ディフューザーは高く張り出したバンパーに内蔵され、リヤのデザインに調和する特徴的なテールパイプが、全体を完成させています。

電動ドアがオプションとして初めて採用され、乗降時の快適性が向上しました。広範囲に配置されたサラウンドセンサーが衝突を未然に防ぎます。障害物検知システムにより、ドアを完全に開くことができない場合にドアの開閉を停止させます。電動ソフトドアクローザーシステムにより、ドアは静かに確実に閉まります。電動ドアの開閉は、複数のコントロールポイントで簡単に操作ができ、またmyAudiアプリからリモート操作も可能です。

### 視認性と安全性のためのライティングテクノロジー

新型Audi Q7において、アウディは先進的なライティングテクノロジーをさらに推し進めています。これにより、路上での安全性を高め、幅広いライティング機能を実現しています。マイクロLEDテクノロジーを備えたデジタルマトリクスLEDヘッドライトは、夜間における視認性と安全性を確保します。

また、新型Audi Q7におけるライティングテクノロジーは、走行中のドライバーを積極的に支援します。レーンライトおよびオリエンテーションライトなどのデジタルマトリクスLEDヘッドライトのライトガイダンス機能と、アシスタンスシステムとの連携がさらに強まりました。Audi Q7は、アシスタンスシステムからの情報をドライバーの視界内に直接表示することで、路上での安全性を大幅に向上させます。

車線変更時に他の車両が死角にいる場合、レーンライトがドライバーの視界に表示されます。また、オリエンテーションライトが表示する車線逸脱警告表示は、高速道路や郊外の道路でも作動され、意図せず車線境界を越えると、従来のメーターパネルでの表示と同様に表示されます。市街地外で凍結の可能性がある道路を走行する際、Audi Q7は、雪の結晶デザインを路面に一時的に投影してドライバーに警告します。

また、洗練されたライトガイダンスのもうひとつの例として、複雑な工事区域における視界をサポートする機能があります。デジタルマトリクスLEDヘッドライトは、レーンライトをオフにしてオリエンテーションライトを優先させることにより、ライトガイダンスを自動的に調整します。また、デジタルマトリ

クス LED ヘッドライトには、歩行者の識別を助けるマーキングライトが備わっています。夜間、車道付近にいる歩行者を直接照らしてその存在を認識しやすくします。デジタルマトリクス LED ヘッドライトの機能は、MMI を介して有効化または無効化を切り替えることが可能です。

#### 世界初のアドバンスターンシグナル

フロントとリヤのターンシグナルは、ライティング装置として不可欠な要素です。ダイナミックターンシグナルをさらに強化するため、アウディは世界初となるイノベーションを導入しました。これは、デジタル OLED リヤライトとデジタルマトリクス LED ヘッドライトを連携する技術で、特に歩行者やサイクリストのための道路の安全性を大幅に向上にします。夜間には、先進的なターンシグナルが、フロントとリヤにあるダイナミックシグナルと連携して路面に投影されます。この機能は、ロービーム点灯中にターンシグナルまたはハザードランプを作動させると自動的に有効になります。

Audi Q7 のリヤも、視認性と安全性を考慮して設計されています。第 3 世代のデジタル OLED リヤライトにより、Audi Q7 は第 1 世代に比べてパーソナライゼーションの幅が大幅に広がっただけでなく、前方で発生した事故や故障を他の道路利用者に警告することも可能です。走行中または交通状況において危険が予測される際には、デジタル OLED パネルは、通常のリヤライトグラフィックスの代わりに、警告シンボルを含む特別なスタティックシグネチャー（固定表示）を表示します。さらに、自動駐車操作中は、フロントとリヤのコミュニケーションライトが、特定のライトシグネチャーを使用します。例えば渋滞走行中、停止している Audi Q7 に別の車両が過度に接近した場合、デジタル OLED パネルが全面点灯し、後続車のドライバーに警告します。

ドアに搭載されたプロジェクションライトは、演出効果を高める新機能です。ドアシルに組み込まれた LED モジュールにより、運転席または助手席のドアの足元に白いひし形が、リヤドアの下には破線のひし形が投影されます。ドアが開くとひし形が広がるように展開し、乗員を迎え入れるとともに、車両に向かう足元を照らします。この機能はエグジットワーニングと組み合わせることで、さらに機能が拡張され、たとえば乗員が Audi Q7 から降車する際に自転車や車両が接近してきた場合、車両はドア横の路面にひし形を投影します。その際、同時にリヤライトのコミュニケーションライトも作動し、他の道路利用者に注意喚起します。